

みみちゃん通信 NO.10 岐聖大ふそく幼稚園発行

新しい年を迎え、気がつけばもう3週間が過ぎようとしています。1月行く月、2月逃げる月、3月去る月と言われるように、3学期は瞬く間に過ぎていきます。今年度のみみちゃんクラブも残すところあと1回となりました。いよいよ4月から幼稚園に入園されるお子さんは期待いっぱい、不安もちょっぴり…という感じでしょうか。

今回と次回は子ども同士のかかわりが深められるような好きな遊びを一緒に楽しんだり、お買い物ごっこを通して園児とも交流したりするような機会をもちますので、お母さんも温かい目でお子さんの様子を見守ってあげてください。よろしくお願いします。



仲良しになれる言葉「貸して」「入れて」「いいよ」

おうちでは自分の好きなおもちゃを自由に使って遊ぶことができます。でも集団の中では自分と同じ思いの子がいて、同じおもちゃが使いたくて取り合うような場面もしばしば見られます。そんな時、「貸して」と言って「いいよ」とおもちゃを譲ってもらったり、ちょっと気持ちには反するけれど譲ってあげたりできたら、仲良しになることができるのです。楽しそうな遊びを一緒にしたい時は、「入れて」といえば仲間に入ることもできます。

ひとりで遊ぶよりも誰かと一緒に遊ぶことが楽しい、お母さんではなくて同年齢の友達を求めることも大切な成長の過程といえます。そんな言葉が自然に使えるよう、ちょっと声をかけてあげてください。



トイレの使い方 ー自分でもできるよう練習してみましょうー



節分の由来とは…

日本には四季があり、暦の上ではそれぞれの季節が始まる日を「立春」「立夏」「立秋」「立冬」といいます。節分は4つの季節の分かれ目で、特に立春前の節分は大切な節目の日として新年に福を呼ぶために悪い事を起こす邪気をはらうよう様々な行事が行われるようになりました。災害や病気などを起こすのは鬼のしわざとして、豆まきで鬼を追ひ払い健康や幸福を願うことから、園でも毎年子ども達と一緒に鬼のお面をつけて豆まきを楽しんでいます。

